

# 日本小児外科学会 令和4年度第5回定例理事会

日 時：令和5年3月7日（火）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、大植孝治、田中 潔、  
湊本康史、米田光宏（以上理事）、黒田達夫、山高篤行（以上監事）、照井慶太（庶務委員  
長）、藤野明浩（庶務副委員長）、柴田晶子（以上事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫、（以上理事）、浦尾正彦（財務会計副委  
員長）、神山雅史（庶務委員）越永 従道（第59回学術集会会長）、木下義晶（施設認定委  
員会委員長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員  
長）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会  
長）

欠席者：上原秀一郎（財務会計委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、小野 滋副理事長・米田 光宏理事とした。
2. 令和4年度第4回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1)第59回学術集会について（越永前会長）

越永前会長より資料に基づき、第59回学術集会会計報告がなされ、承認された。

2) 第60回学術集会について（奥山次期会長）

奥山会長より資料に基づき、プログラム等進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和5年6月1日（木）～6月3日（土）

会場：大阪国際会議場

テーマ：All is well!～次世代へのエール～

3)第61回学術集会について（田尻次期会長）

田尻次期会長より資料に基づき、プログラム等進捗状況が報告され、承認された。

会期：2024年5月29日（水）～5月31日（金）

会場：ヒルトン福岡シーホーク

テーマ：真のQOL向上を目指して

4)第38回秋季シンポジウムについて（野田前秋季シンポジウム会長）

野田前秋季シンポジウム会長より資料に基づき、第38回秋季シンポジウム会計報告がなされ、承認された。

5)第39回秋季シンポジウムについて（臼井秋季シンポジウム会長）

臼井秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和5年10月28日（土）

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

6)第 40 回秋季シンポジウムについて（田中次期秋季シンポジウム会長）

田中次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 6 年 10 月 26 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

7)第 41 回秋季シンポジウムについて（大植次々期秋季シンポジウム会長）

大植次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

8)各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2023 年 2 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,690 名（うち海外 2 名）、評議員 284 名、準会員 27 名、名誉会員 54 名（うち海外 8 名）、特別会員 66 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,121 名+1 団体である。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

浦尾副委員長より、各委員会に予算申請を 3 月 15 日の締め切りでお願いしていることや、今年の決算スケジュールについて報告された。

2023 年 10 月からインボイス制度が開始されることをうけて、今まで年会費（不課税）と併せて請求していた小児外科学会誌購読料金（課税）、PSI 購読料金（課税）をわけることが承認された。小児外科学会誌購読者には、丸善雄松堂経由での定期購読をご案内し、評議員以外の PSI 購読者には、申込期間を設定して、オンラインで購読申込登録をしていただき、購読料金はカード決済でお支払いいただくようご案内することが承認された。インボイス制度の開始は 10 月からだが、年度途中での会員種別変更は会員が混乱するので 4 月からこの形にすることが承認された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・第 2 回外科系サブスペシャリティ領域専門医制度に関する面談について報告された。
- ・第 1 回 新制度における外科専門医とサブスペシャリティ外科専門医の「連動更新」に関するワーキンググループについて報告された。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

- ・優秀論文の選定について、症例報告に関しては、以下の論文が選定され、承認された。

「術前薬物療法が奏功し完全切除し得た局所浸潤右副腎皮質癌の 1 乳児例」

小関元太，中田光政，照井慶太，小松秀吾，山下喜晴，力石浩志，日野もえ子，齋藤 武，菱木知郎. 58 巻 7 号，984-991 頁

また、原著論文は以下の論文が選定され、承認された。

「小児慢性機能性便秘症に対するポリエチレングリコール製剤の使用経験」

井深奏司，窪田昭男，児玉 匡，阪 龍太 58 巻 6 号，890-896 頁

- ・投稿論文の状況について報告された。
- ・投稿規定の英語版の改訂について報告された。

(5) 国際・広報委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より資料に基づき、2022年度の活動について報告され、承認された。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、令和6年度診療報酬改定にむけて外保連への要望について報告され、承認された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・令和4年5月22日（日）に完全 Web で開催された第37回卒後教育セミナーについて報告された。総受講者数は92名だった。
- ・第38回卒後教育セミナーは令和5年7月30日（日）に完全 Web で開催されることが報告された。
- ・令和4年5月21日（土）に完全 Web で開催された第12回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。総受講者数は101名だった。
- ・PSJM2022に合わせ令和4年10月28日（金）にハイブリッド形式で開催された第13回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。当日の無料現地受講者を除く総受講者数は143名だった。
- ・次回から偶数回のセミナーを学術集会とは別日程とし、第14回小児内視鏡外科手術セミナーは第38回卒後教育セミナーと併せて令和5年7月30日（日）に完全 Web で開催されることが報告された。
- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策案の日本小児外科学会のPRビデオが提示された。
- ・日本外科学会プラットフォームを利用したE-learningの立ち上げについて、2023年2月1日に新システムにリニューアルしたが、すべての機能が公開される5月から当学会のE-learningについて相談を開始する予定であることが報告された。
- ・学会用語集に関する調査および日本医学会分科会用語委員会について報告された。
- ・医学教育モデル・コア・カリキュラムに関するパブリックコメントについて教育委員会委員からの意見をまとめ、文部科学省高等教育局医学教育課へ提出したことが報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・悪性腫瘍委員会開催状況について報告された。
- ・新規学会登録システムの運用について報告された。
- ・2011-2017年の追跡調査について報告され、第60回学術集会においてそれに関する報告を行う予定であることが報告された。
- ・第60回日本小児外科学会学術集会における悪性腫瘍委員会報告（予定）は下記の通りであることが報告された。

2023年6月1日（木曜日） 午後

悪性腫瘍委員会報告 小児悪性固形腫瘍登録の成果と未来

司会：高間勇一，木下義晶

【発表内容】

悪性腫瘍登録の経緯と成果（仮）：大植孝治

## 疾患報告（2011-2017年追跡調査の結果）

概要：高間勇一

神経芽腫：宗崎良太

腎腫瘍：野村元成

肝腫瘍：小松秀吾

横紋筋肉腫：荒井勇樹

胚細胞腫瘍：星 玲奈

小児固形腫瘍登録の未来～小児血液・がん学会登録（仮）：木下義晶

### （9）学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・短腸症の重症度分類の提言について報告され、承認された。
- ・学術アンケート調査「NCD小児外科領域における Risk Calculator に関する会員アンケート調査」について報告され、承認された。
- ・小児胃食道逆流症および小児難治性胃食道逆流症の診断基準(案)について報告され、承認された。
- ・学術アンケート調査「腸回転異常症診療ガイドライン公開後アンケート調査」について報告され、承認された。
- ・第2回委員会の開催について報告された。

### （10）倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

### （11）データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・2023年4月1日～4月13日にかけて2023年度NCDデータ（小児外科領域）を利用した後ろ向き研究申請を公募することが報告された。
- ・NCDデータ応募がなかった場合の前年度応募課題再検討について報告された。
- ・2018年NCD利用研究として採択された東北大学和田基先生申請「本邦における新生児期発症の腸管不全に関する疫学的研究」について、研究機関の延長・研究分担者の追加が申請され、データベース委員会、理事会で承認されたことが報告された。
- ・NCD利用研究（小児外科領域）前向き研究公募について報告された。

### （12）小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・外科系小児救急受け入れ状況2022年について報告された。
- ・日本医学会連合 門田班の研究について、2021年度の「新型コロナウイルス感染症による小児外科診療へのアンケート調査」は委員会報告として2023年発行の日本小児外科学会雑誌 59巻: 79-85ページに掲載済みであり、2022年度の「COVID-19による小児外科診療への影響に関するアンケート調査」は解析中であることが報告された。また、2023年度も小児救急検討委員会、NCD連絡委員会が参画予定であることが報告された。

### （13）トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブックが2023年発行の日本小児外科学会雑誌 59巻: 86-99ページに掲載されたことが報告された。

### （14）ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・2022年度の活動について報告された。
- ・日本医師会の女性医師サポートセンター「医学生、研修医等をサポートするための会」に共催申請を行い、2022年度も20万円の共催金の供与を受けたことが報告された。
- ・第60回日本小児外科学会学術集会において、子育てをしながら急性期病院で外科医、産婦人科医、心臓血管外科医および小児科医として最前線で臨床に携わっている先生方を招き、「両立を可能にする（多様で寛容な）組織のあり方」をテーマにシンポジウム形式で議論する予定であることが報告され、承認された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、第60回学術集会の抄録を委員会で倫理手続きに関する点についてチェックを行い、奥山会長に報告したことが報告された。

(17) NCD連絡委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・NCD入力データの監査（Audit）について、2023年度中に4施設のSite visitを終了しており、結果については学会HPの掲載と学術集会でポスター報告の予定であることが報告された。
- ・アニュアルレポートについて、2020年分は日小外会誌59(1),72-78,2023に掲載されており、2021年分についてはNCDデータ解析中であることが報告された。
- ・厚労科研「小児外科における新型コロナウイルス感染の影響に関するNCDデータ解析研究」の2020年データ分は結果報告について学会HPに掲載し評議員会で報告する予定であること、論文投稿予定であることが報告された。また、2021年データ分については現在解析結果を検討中であることが報告された。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・血管腫・脈管奇形・血管奇形・リンパ管奇形・リンパ管腫症診療ガイドライン2022最終案確認：2023年2月委員会内で審議し、理事会答申中であることが報告され承認された。
- ・腸回転異常症診療ガイドライン公開後アンケート調査の進捗状況について報告された。
- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインの進捗状況について報告された。
- ・次期学会主導診療ガイドライン作成について、先天性食道閉鎖症を候補として検討しており、提案書を理事会に提出中であること、厚労科研田口班と連携して行う予定であることが報告された。
- ・学会ホームページ掲載ガイドライン集について、令和5年度更新作業を予定していることが報告された。
- ・日経メディカルからガイドライン・手引き発刊予定について問い合わせがあり回答したこと、第123回日本外科学会定期学術集会（2023年4月）サージカルフォーラムにて、演題『希少小児外科疾患診療ガイドラインの効能・限界とその先について』を発表予定であることが報告された。

(19) 利益相反委員会（奥山理事長代行）

奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・リンパ管疾患に対して保険適応となったラパリムス錠について、学会から理事長名で厚生労働省保険局医療課長あてに要望書を提出したこと、来年度の診療報酬改定においては保険診療委員会と連携して対応する予定であることが報告された。
- ・大建中湯のヒルシスプルング病、ヒルシスプルング病類縁疾患を適応とする要望について、「医療上の必要性」を厚生労働省未承認薬等検討会議専門WGで検討された結果、「医療上の必要性」評価基準に該当しないと判断されたとの通知があったことが報告された。
- ・冷凍焼灼装置の特定医療機器要望書に関して、要望内容を委員会で検討し、日本形成外科学会と連携して要望書を提出する方向で検討中であることが報告された。
- ・短腸症候群に対する治療薬 Teduglutide の適応承認について、2021年6月23日に1歳以上の小児を含む短腸症候群の治療薬として製造販売承認を取得し、1歳未満、体重10kg未満の小児を対象とする低用量製剤（0.95mg製剤）も2022年に承認され、2023年5月頃販売開始予定であることが報告された。
- ・魚油由来静脈注射用脂肪乳剤（Omegaven）の開発（医師主導治験）について、AMED臨床研究・治験推進研究事業研究開発費に応募した結果、研究開発費の採択をうけ2023年度中に医師主導治験を開始予定であることが報告された。
- ・AMED医薬品等規制調和・評価研究事業「小児医薬品の早期実用化に資するレギュラトリーサイエンス研究」（中村班）への参加について報告された。

#### (21) 総合調整委員会（小野委員長）

小野委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告された。

- ・こども庁設立に際しての小児外科学会からの要望
- ・動画をJ-STAGEにて公開するにあたり、現在のPDF（Bib-J）公開を全文（Full-J）公開に切り替えたほうがよいか？
- ・TwitterやFacebookなどのSNS学会公式アカウント作成について
- ・新専門医制度への対応について
- ・U45WGについて
- ・学術集会のあり方について
- ・小児外科専門医の適正配置について（地域ブロック制についての検討）
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方
- ・学生、若手医師をリクルートするための具体的方策
- ・英語HPについて
- ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて
- ・小児外科に関するガイドラインの改訂作業について

#### (22) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・選挙管理・選挙制度検討委員会について報告された。
- ・会員資格喪失後の復会可能な期間を3年に延ばし、会員資格の完全喪失までの猶予を6年とするという救済措置の導入について報告された。
- ・新Eラーニングシステム 2023.2.1稼働開始であることが報告された。
- ・専門医制度委員会報告について報告された。
- ・NCD連絡委員会について、各学会から解析者の推薦を受け付け（臨床研究の経験など一定のスキルが必要）、データはクラウドに移行する予定であることが報告された。
- ・医学用語「イレウス」の扱いの件について報告された。

(23) 四者協関連（奥山理事長）

奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(24) 選挙管理委員会（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より口頭で、役員選挙のスケジュールについて報告された。

9) 2022 年度事業報告・2023 年度事業計画について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より資料に基づき、2022年度事業報告・2023年度事業計画の原案が提示され、各委員会で追記する事項があれば4月28日までに事務局まで連絡することとした。

10) 名誉会員・特別会員推戴について（奥山理事長）

審議の結果、以下の9名を本年度推戴候補者として内諾を確認の後、社員総会（評議員会）に諮ることとした。

名誉会員推戴候補者：北川 博昭先生

名誉会員推戴候補者：八木 實先生

名誉会員推戴候補者：黒田 達夫先生

名誉会員推戴候補者：米倉 竹夫先生

名誉会員推戴候補者：廣部 誠一先生

名誉会員推戴候補者：金森 豊先生

特別会員推戴候補者：大野 康治先生

特別会員推戴候補者：檜山 英三先生

特別会員推戴候補者：鈴木 達也先生

11) ロボット支援下手術のプロクター認定について（奥山理事長）

奥山理事長より、資料に基づき牧田 智先生から認定申請があり、日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 小児外科ロボット支援下手術検討委員会で審査した結果、承認されたことが報告され、承認された。

12) ロボット支援手術レギュレーション検討・委員会設立について（内田理事）

内田理事より、資料に基づきロボット支援手術レギュレーション検討・委員会設立について報告され、承認された。

## 1. 報告事項

### 1) 理事長報告（奥山理事長）

- (1) 2023 年 2 月 10 日(金)に開催された一般社団法人 日本医学会連合 加盟学会連絡協議会「医学会におけるダイバーシティの取り組みと課題」について報告された。
- (2) 令和4年度第17回メール審議：NCD 小児外科領域データを利用した研究「本邦における新生児期発症の腸管不全に関する疫学的研究」計画内容の変更依頼について全会一致で承認されたことが報告された。
- (3) 健やか親子 21 事務局からの寄贈本「第 11 回健康寿命をのぼそう！ アワード」を受領した。
- (4) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみっく vol.43・2」を受領した。-
- (5) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.213」を受領した。
- (6) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会ニュース No.75」を受領した。
- (7) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報第 64 号」を受領した。

- (8) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査制度普及リーフレット」を受領した。
- (9) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 Vol.50 No.1」を受領した。
- (10) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.398」を受領した。
- (11) 第31回医学会総会からの通信文「開会式・開会講演会招待状」を受領した。
- (12) 日本消化管学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和5年5月31日（水）11：00～14：30 大阪国際会議場 第2会場にて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_